

平成25年
（2013年）

春号

大津・南部の農業

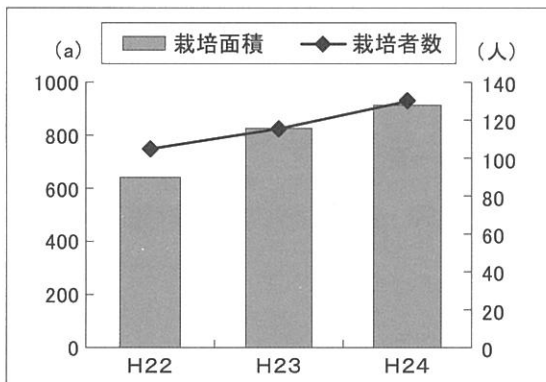
発行
滋賀県大津・南部農業農村
振興事務所農産普及課
草津市草津三丁目14-75
TEL 077-567-5421～5423
FAX 077-562-8144
メールアドレス ga35@pref.shiga.lg.jp
発行責任者 古谷 博幸

この印刷物は古紙パルプを配合しています

目次

- 増えています、水田での野菜づくり…………… p. 1
- 環境こだわり農産物の栽培をはじめませんか…………… p. 2～3
- 消費者に好評な「ポット柿」…………… p. 4
- 「心をこめて育てた地元野菜を子ども達に」栗東食育ファームの会活動紹介… p. 4

増えています、水田での野菜づくり



しがの水田野菜生産拡大推進事業実績（大津・南部）



定植機による移植（守山市）



ブロッコリー栽培（栗東市）



キャベツ栽培（野洲市）

県では野菜の自給率向上のため、水田を利用した野菜の生産拡大を推進する事業に取り組んでいます。当管内においても、県事業を利用して新規に取り組む大規模水稻農家や集落営農組織が増え、キャベツやブロッコリーなどの水田野菜の栽培面積が少しずつ増えています。また、JAが畝立て機や定植機を導入し、販路を確保して、作付けから販売まで一貫した支援を行うなど、新規に取り組みやすい体制が整いつつあります。

栽培品目も土質や地域特性に合わせて、はくさい、たまねぎ、かぼちゃ、にんじん、さといも、にんにく、なばななど多品目です。新たに水田で野菜栽培に取り組もうとお考えの方は当課までご相談ください。

環境こだわり農産物の栽培をはじめませんか

1 環境こだわり農産物認証制度って？

環境こだわり農産物認証制度とは、近畿圏1,450万人の水源である琵琶湖や美しい農村環境を次世代に引き継ぐとともに農産物のブランド価値を高める県独自の認証制度です。農薬や化学肥料を慣行の半分以上に減らし、琵琶湖などの環境に配慮して農産物を生産し、消費者に安全・安心を届けることが目的です。

環境こだわり農産物の生産に加え、さらに一歩進んだ取組（地球温暖化防止や生物多様性を維持する技術）を実施すると国の直接支援が受けられます。

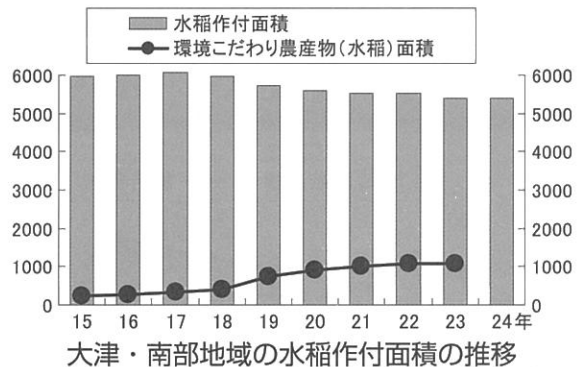
ここでは管内での取組状況や実施に向けてのポイントなどをお伝えします。



2 水稲

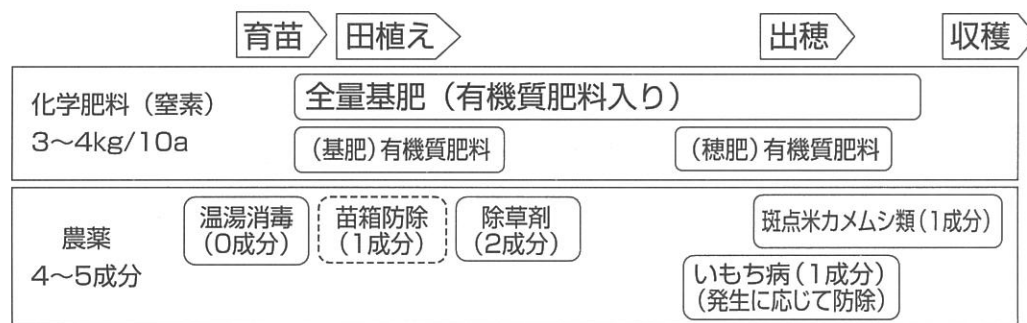
管内の環境こだわり農産物（水稲）の水稲作付面積に占める割合は19%程度まで増加してきました。琵琶湖等への環境に配慮する意識が定着しつつあると考えられます。

水稲では、全量基肥（一発肥料）による省力栽培法や、環境に配慮した、効果の高い農薬の登場により、栽培が容易になっています。



環境こだわり水稲の栽培イメージ

基準：化学合成農薬 7成分以下 化学肥料（窒素成分量） 4kg以下/10a



3 野菜

環境こだわり農産物（野菜）の認証面積は、しゅんぎく（7.3ha）、こまつな（3.0ha）などの軟弱野菜が多く、次いですいか（2.1ha）、にんじん（0.8ha）などです。また、前年に比べなばなとキャベツが大幅に増加しました。

キャベツを例にあげますと、育苗から結球が始まる生育初期は高温期で、ハスモンヨトウなどの病虫の被害が多いことが課題です。

新規に取り組み始めた産地では育苗箱に処理する薬剤を利用して生育初期の害虫被害を長く抑えています。また、写真のようなフェロモントラップを設置して、ハスモンヨトウの誘殺数を確認しながら防除薬剤の選定や使用時期を決定されました。さらに生物農薬（BT剤など）に替えることで、化学合成農薬の使用回数を半分以上に抑えることができました。



栽培ほ場とフェロモントラップ

施肥は有機質肥料を基肥に利用し、化学窒素成分の多い肥料を追肥していく施肥体系で収量が確保できるようになりました。

これらの技術により、環境こだわり農産物の安定生産が可能となり、直売所においても安全で安心な野菜として高く評価されています。

栽培品目数も増加傾向にあり、今後は取組が容易なじゃがいも、さつまいも、さといもなどのいも類やだいこん、たまねぎなどの土物野菜もおすすめです。

4 果樹

環境こだわり農産物（果樹）の取組は、面積の多い順にブドウ、イチジク、ナシがあります。

ブドウは雨に弱く、黒とう病やベト病が大敵です。ブドウの棚面の上にトンネル状にビニールを被せた一部被覆栽培を行えば、雨がかからないので確実に防除回数を減らせます。

イチジクは、元々露地栽培でも病虫害の少ない果物です。しかし露地栽培では、収穫時期に雨が降ると果実の糖度が下がり品質低下が激しいので、安定した生産・販売を目指すにはパイプハウスによる雨除け栽培が必要になります。

ナシは、病虫害の発生が多く取組の難しい樹種です。県内では、ナシ棚の上にビニールをかけ雨が当たらないようにして取り組まれている事例があり、当管内では栽培管理と樹の観察を徹底されている篤農家で取り組まれています。



環境こだわり農産物のナシ

5 花き

花きの環境こだわり農産物は、ばら、きく、ゆり、ストックの4品目が対象です。



環境こだわり農産物のゆり

昨年、当管内では、初の環境こだわりのゆりが栽培され、守山市内の農産物直売所で販売されました。ゆりは比較的病気に強く、栽培しやすいため初心者の方には取組やすい品目といえます。

小菊は、近年、県内で取組が増えつつある草丈45～60cmの短い小菊にすれば、通常の栽培と比べて、栽培期間が約1ヶ月短縮できることから、農薬の散布回数も減らすことができます。また、施肥量も通常の栽培に比べて、2/3程度に抑えることができます。

6 おわりに

このように身近なところで多くの方が環境こだわり農産物の栽培に取り組まれています。皆様もぜひはじめてみませんか。

消費者に好評な「ポット柿」

1 直売所の目玉に

J Aレーク大津では、直売所における品揃えの拡大と果樹振興を目指し平成20年からポット柿（品種：太秋と早秋）栽培を推進されました。当初は156ポットから始まり、現在では約700ポットが栽培されています。平成23年から収穫が始まり、平成24年は約1000果を収穫しました。



植栽2年目の様子

J A直売所での販売は、従来の柿とは違う食感を持つ新しい柿であることをアピールして高単価で販売されています。パッケージ

は、フルーツキャップを被せ、オリジナルシールを貼り、また24年は贈答用の出荷箱も作成し今後の販売拡大を狙いました。販売2年目となり消費者にポット柿の美味しさが徐々に認知されてきました。



直売所で好評だったポット柿

2 栽培者の掘り起こし

栽培ポット数は増えてきましたが、今後、大津市の特産物として育成するためには、栽培者の掘り起こしが重要です。地植えに比べて初期経費はかさみますが、需要も高まっていますので、関心のある方はお問い合わせください。

心をこめて育てた地元野菜を子ども達に



栗東食育ファームの会のみなさん

栗東食育ファームの会は、栗東市で学校給食へ野菜を供給している28名のグループです。12名で平成21年に設立されました。以来、仲間づくりに励まれ、活発に活動されています。

会の特徴は、生産者の自主的な活動により運営されていることです。毎月の出荷調整・配分、毎月開催される全員会の運営、現地研修会の開催等、生産者である会員同士が協力し合いながら取組をされています。

毎年、小学校で開催される「おでん鍋給食」では、各学校へ出向いて食農教育を指導するなど、地域に根ざした活動を展開されています。

2012年度農作業安全確認運動

**今日もニコニコ
無事カエル!**

